

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2006-96960(P2006-96960A)  
 【公開日】平成18年4月13日(2006.4.13)  
 【年通号数】公開・登録公報2006-015  
 【出願番号】特願2004-288057(P2004-288057)

## 【国際特許分類】

C 08 F 8/48 (2006.01)  
 C 08 J 5/18 (2006.01)  
 G 02 B 5/30 (2006.01)  
 C 08 L 57/00 (2006.01)

## 【F I】

C 08 F 8/48  
 C 08 J 5/18 C E R  
 G 02 B 5/30  
 C 08 L 57:00

## 【手続補正書】

【提出日】平成19年7月20日(2007.7.20)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

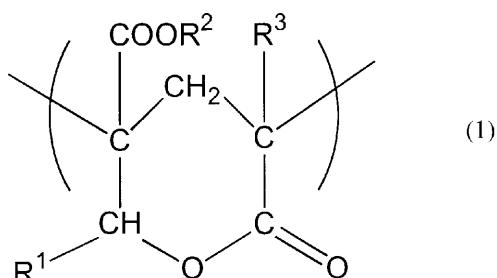
## 【請求項1】

ラクトン環含有重合体を主成分として含む、光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

## 【請求項2】

前記ラクトン環含有重合体は、下記一般式(1)で表されるラクトン環構造を有する、請求項1に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

## 【化1】



(式中、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>は、それぞれ独立に、水素原子または炭素数1～20の有機残基を表す。なお、有機残基は酸素原子を含んでいても良い。)

## 【請求項3】

光学用保護フィルムである、請求項1または2に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

## 【請求項4】

偏光板に用いられる保護フィルムである、請求項3に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

**【請求項 5】**

延伸フィルムであり、面方向の位相差が20～500nmである、請求項3または4に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

**【請求項 6】**

位相差フィルムとしても機能する、請求項5に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

**【請求項 7】**

光学フィルムであり、面方向の位相差が20～500nmである、請求項1または2に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

**【請求項 8】**

位相差フィルムである、請求項7に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

**【請求項 9】**

視野角補償フィルムである、請求項7に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

**【請求項 10】**

延伸フィルムである、請求項7から9までのいずれかに記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

**【請求項 11】**

光学シートであり、面方向の位相差が10nm未満である、請求項1または2に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

**【請求項 12】**

拡散板である、請求項11に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

**【請求項 13】**

導光板である、請求項11に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

**【請求項 14】**

表裏面の少なくとも一面に機能性コーティング層が積層されてなる、請求項1または2に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

**【請求項 15】**

前記機能性コーティング層が、粘接着剤層、防眩（ノングレア）層、光拡散層、反射防止層、ハードコート層、紫外線遮蔽層、熱線遮蔽層および電磁波遮蔽層からなる群より選ばれる少なくとも1種である、請求項14に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体。

**【請求項 16】**

請求項1または2に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体を光学用保護フィルムとして用いてなる、偏光板。

**【請求項 17】**

請求項16に記載の偏光板を含む、液晶表示装置。

**【請求項 18】**

請求項1または2に記載の光学用面状熱可塑性樹脂成形体を含む、液晶表示装置。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記光学シートは、導光板であることがある。

本発明にかかる前記光学用面状熱可塑性樹脂成形体は、表裏面の少なくとも一面に機能性コーティング層が積層されてなることがある。

前記機能性コーティング層は粘接着剤層、防眩（ノングレア）層、光拡散層、反射防止層、ハードコート層、紫外線遮蔽層、熱線遮蔽層および電磁波遮蔽層からなる群より選ばれる少なくとも1種であることがある。

本発明にかかる偏光板は、前記光学用面状熱可塑性樹脂成形体を光学用保護フィルムとして用いてなる。

本発明にかかる液晶表示装置は、前記偏光板を含むことがある。

本発明にかかる液晶表示装置は、前記光学用面状熱可塑性樹脂成形体を含むことがある

。――